

# 2019年度 阪神高速グループの 取り組み状況

2019年10月3日  
阪神高速道路株式会社  
代表取締役社長 幸 和範

## 目次

### ◇ トピックス ◇

1. ネットワーク整備
2. 湾岸線（南港北～大浜）リニューアル工事
3. レッカー車導入効果
4. 阪神・淡路大震災での復旧経験の継承に向けて

# 1. ネットワーク整備

---



# 西船場ジャンクション(信濃橋渡り線)

全ての橋脚、桁架設を完了し、現在床版工事等を実施中。  
今後、供用に向けて、舗装工事や付属施設等を実施します。



渡り線設置状況

✓ **2020年1月末頃、西船場ジャンクションが開通します！**  
あわせて、閉鎖中の信濃橋入口も開放します。

## 【西船場ジャンクション整備による効果】

- 信濃橋渡り線の開通により、環状線周回の必要がなくなるため移動時間の短縮が可能となります。
- また、周回する交通が減少する環状線南半分の区間において、混雑緩和が期待されます。



本線トンネルは完成  
全線にわたり舗装工事や施設工事(防災設備・料金所等) を実施中



シールドトンネル部 施工状況  
(コンクリート舗装完了部)

✓ 2019年度内に大和川線は全線開通します！

## 【大和川線の開通による効果】

○ 環状線を迂回するルートが形成され、大阪中心部の高速道路の渋滞緩和が期待されます。また、事故や災害等による通行止があった際に、代替道路の役割も果たします。



交通の流れを抜本的に改善し、大阪中心部の渋滞緩和が期待される「大阪都市再生環状道路」の一部を形成

○ 物流拠点の集積する臨海部と内陸部のアクセスが向上し、時間短縮による物流効率化が期待されています。

○ 堺市と松原市を結ぶ東西の道路交通が大和川線に転換し渋滞の緩和や事故の減少が期待されます。

## 臨海部～内陸部間のアクセス向上による時間短縮効果

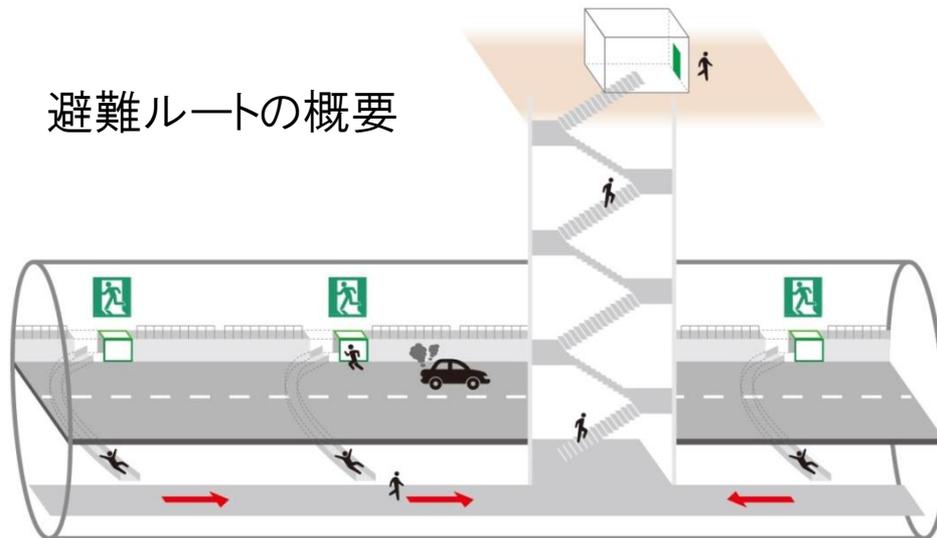


シールドトンネル断面図



すべり台

避難ルート概要



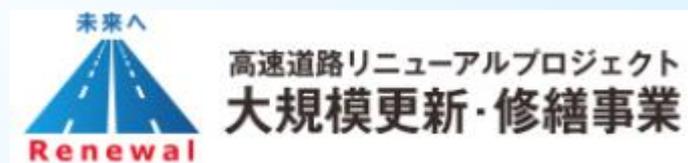
シールドトンネル区間では、シールドトンネルの道路下部空間に着目し、すべり台を使って道路下部空間へ避難する西日本初の避難形式を採用しています。



※後日公開する機会を設ける予定

## 2. 湾岸線（南港北～大浜）リニューアル工事

---



\* 阪神高速道路を将来にわたって健全な状態に管理し、お客さまに安心してご利用頂けるよう、老朽化が進んだ構造物等の修繕事業等を進めるとともに、2015年度から新たに大規模更新・修繕に着手しています。

## 大規模更新・修繕事業

区分	路線	対象箇所	延長	開通年	事業年度
大規模更新	橋梁全体の架替	3号 神戸線 京橋付近	0.3km	S41	2021~2028
		14号 松原線 喜連瓜破付近	0.2km	S55	2020~2026
	橋梁の基礎取替	15号 湊町 堺線 湊町付近	(9基)	S47	2015~2029
		3号 神戸線 湊川付近	0.4km	S43	
	橋梁の桁・床版取替	11号 池田線 大豊橋付近	0.3km	S42	
		13号 東大阪線 法円坂付近	0.2km	S53	
		1号 環状線 湊町~本町	0.6km	S39~40	
	橋梁の床版取替	11号 池田線 福島~塚本	0.3km	S42	
		12号 守口線 南森町~長柄	0.5km	S43	
		15号 堺線 芦原~住之江	1.7km	S45	
小計		5km	-		
大規模修繕	4号湾岸線、11号池田線ほか	57km	-	2015~2029	
合計		62km	-	-	

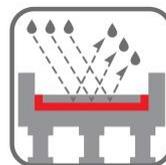
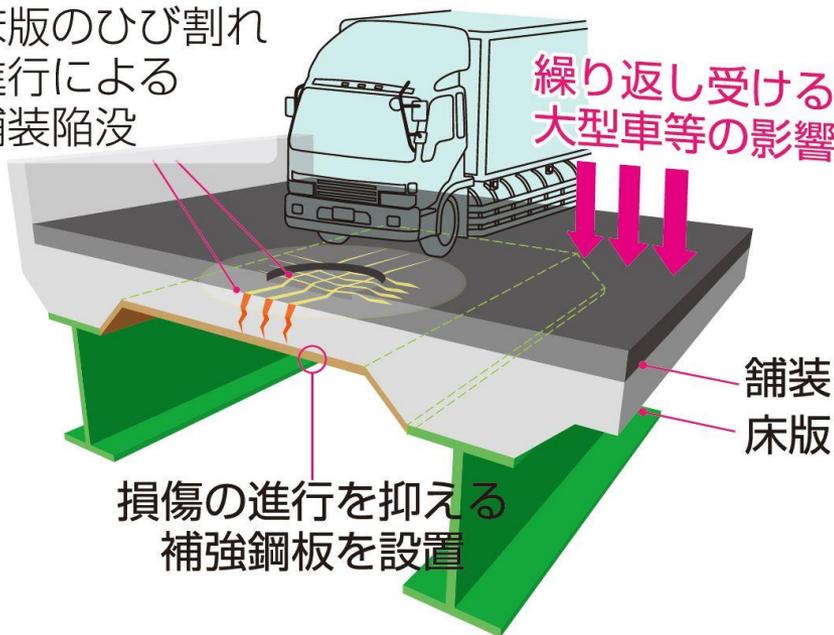


- 2015年度よりリニューアル工事に着手し、主要構造の全体的な補修を行うことで健全性の大幅な引き上げを図っています。

## ■ コンクリート床版：ひび割れ・陥没

床版のひび割れ  
進行による  
舗装陥没

繰り返し受ける  
大型車等の影響



RC床版高性能防水施工状況

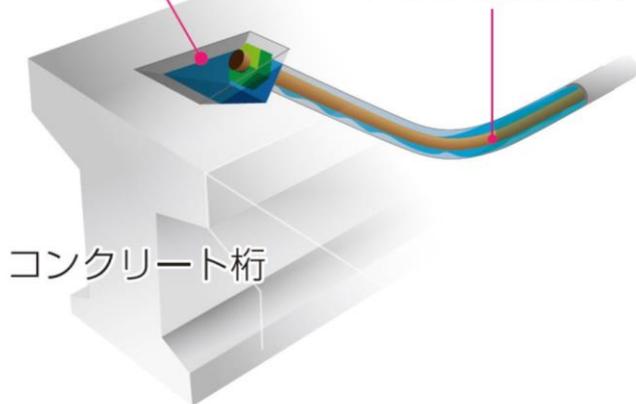


RC床版取替状況

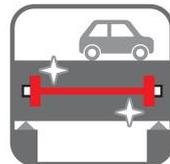
## ■ PC桁：ケーブル腐食

ケーブルを保護する鋼製管が腐食し膨張することで、コンクリートのひび割れが発生。

ケーブル定着部



コンクリート桁



PC桁外ケーブル補強状況

## ■ 鋼床版：疲労き裂

鋼材の継ぎ目・溶接部、鋼材同士の交差部にき裂発生

デッキプレートとの溶接部

舗装

デッキプレート  
貫通き裂

デッキプレート

垂直補鋼材

Uリブ

横リブ

Uリブ・横リブ  
交差部

主桁ウェブ

Uリブ同士の継ぎ目



SFRC舗装施工状況

## 終日通行止によるリニューアル工事

日時： 11月20日(水) 午前4時  
～ 11月30日(土) 午前6時

区間： **4号湾岸線 (南港北～大浜)**

通行止め期間中は6号大和川線 三宝JCT～鉄砲も利用できません。

(近年の大規模規制を伴うリニューアル工事の実績)

年度	工事区間
2017	湾岸線 (尼崎末広～北港JCT) ※1
2018	堺線 (全線)・西大阪線 (全線)
2019	3号神戸線 (湊川～京橋)

※1 終日車線規制にて実施

未来につながるリニューアル工事

# 終日通行止

4 湾岸線

南港北 ↔ 大浜

通行止め期間中は

6 大和川線 三宝JCT ↔ 鉄砲 も利用できません。

11月  
**20**  
日(水)

終日

11月  
**30**  
日(土)

午前4時

午前6時

## 事前車線規制

4 湾岸線

南港北 ↔ 三宝

11月  
**6**  
日(水)

終日

11月  
**20**  
日(水)

午前4時

午前4時

(4号湾岸線) 撮影:2019年7月(一部CG補正を施していません)

周辺道路も含め、混雑が予想されます。お車のご利用を控えていただくなど、ご理解とご協力をお願いします。渋滞予想など詳しくはホームページをご覧ください。

## 湾岸線（当該区間）

- 開通後約37年が経過
  - ⇒ 特に大型車の通行が多く、その繰り返しの荷重により、鋼床版に疲労亀裂などの損傷が多く発生
- 1999年及び2001年に1車線規制による補修工事のみを実施
  - ⇒ 舗装の損傷が多く発生

**安全・安心・快適を未来につなげるため リニューアル工事を実施**

## 構造物の長寿命化（リニューアル）【大規模修繕】

### 鋼床版のSFRC舗装の実施

既存のアスファルト舗装を強度の高い鋼繊維補強コンクリート（SFRC）に置き換えることにより鋼床版の疲労耐久性を向上します。



**鋼床版の長寿命化を図ることが期待できます。**



SFRC舗装 施工状況

他にも、舗装打換、渋滞対策、道路標識の取替など、多種・多様な工事を集約して10日間で集中的に実施



- 工事区間：阪神高速3号神戸線（湊川～京橋） 延長 6.3km
- 工期期間：2019年5月24日（金）午前4時～6月3日（月）午前4時
- 規制手法：終日通行止め（10昼夜間連続）
- 工事広報：①マスメディア、インターネット広告、SNS等の活用  
②う回路への分岐手前に所要時間情報を提供する表示板の設置  
③WEBによる所要時間実績情報の提供
- 交通影響：お車のご利用の取り止めや広域う回にご協力いただいたことにより、交通影響が予測より小さい結果になりました。

## 【工事期間中の渋滞長】



### **3. レッカー車導入効果**

---

- ✓ 交通管理隊にレッカー車を配備、事故・故障現場への到着時間を短縮することで速やかに交通障害を解消して渋滞時間を削減！
- ✓ 大規模災害時は放置車両等を移動させ、救命活動等に従事する緊急車両等の通行にも寄与！

- ・2019年4月より大阪地区・兵庫地区それぞれの交通管理隊にレッカー車及び専従隊員から編成された機動支援隊を新設
- ・24時間365日高速道路上をパトロール、または基地にて待機
- ・速やかに事故・故障現場から交通流の障害となる車両を移動
- ・民間ロードサービス会社と併用し効率的な運用を実施



多機能レッカー車（ホルムス600R）  
ブームつり上げ能力 最大14.5t  
ウインチ 6.8t  
アンダーリフト 最大5.4t  
クレーン 2.9t

## 【導入効果】

- ・現場到着時間  
民間38分→レッカー隊25分（**13分の短縮**）
- ・消防による車両閉じ込め事故の救助活動において車両引きはがし作業を援助するなど  
**人命救助にも寄与**
- ・事故による破損構造物により対向車線一部閉鎖（渋滞発生）の際、速やかに除去し、  
**渋滞が早期解消**（災害時も同様な事態が想定される）



〔車両横転事故の処理〕



〔ナトリウム灯破損事故〕

## 4. 阪神・淡路大震災での復旧経験の継承に向けて

---

阪神・淡路大震災の発生から来年1月で25年を迎える。当時、阪神高速道路の復旧に携わった社員等の経験・教訓を着実に後世に継承するため、社内外に向けた各種施策を実施

## ■『土木の日』協賛行事を震災資料保管庫で開催【11/17(日)】

⇒ 阪神・淡路大震災で実際に被災した構造物を展示している震災資料保管庫において開催(申込受付中)



## ■震災資料保管庫の特別公開の実施【2020年1月中旬】

⇒ 震災発生日直近の土・日曜日に、事前申込無しでの特別開館を予定  
関係者による被災構造物の説明案内の他、震災復旧に携わった当時の阪神公団職員を語り部とした体験講演の開催を予定

☞ 震災資料保管庫は、2018年度土木学会の選奨土木遺産に被災構造物群として認定

## ■各種広報媒体での阪神高速における防災に係る取り組みを順次発信

※その他、他機関が主催する講演会等での発信

・『インフラ整備70年講演会』での講演 (東京:8/22開催済、大阪地区でも開催予定)

[建設コンサルタンツ協会 主催]

・兵庫県 阪神・淡路大震災25年関連行事『ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウム』への参画

[兵庫県・地域と未来をつなぐ“ひょうご基幹道路ネットワーク”シンポジウム実行委員会 主催]

## 阪神高速グループ社員への震災経験の着実な伝承に向けた主な取り組み

- 主に若手社員を中心として、復旧経験及び震災で得られた教訓を学ぶ場の設置  
⇒ 防災意識のさらなる向上